

～下田のデキゴト～



6/26 下田市監査委員選任辞令交付式

6月26日付けで議会選出の監査委員として、渡邊照志議員が就任しました。監査委員として、市の財務や経営及び行政運営にかかる事業が合理的かつ効率的に執行されているかを監査します。



7/8 下田わくわくパーク「これば！」

下田小学校体育館にて下田子育てネットワーク主催「これば！」が行われました。約160人の家族が来場し、遊具で体を動かしたり、オリジナルのバスボム、ミサンガ、紙ひこうきを作り楽しみました。



7/11 市町対抗駅伝選手説明会・決起大会

下田市民文化会館大会議室にて、第24回静岡県市町対抗駅伝競走大会の下田市代表候補選手説明会兼決起大会が開催されました。今後、候補選手達は12月2日の本番に向け、監督・コーチの指導の下、練習に励んでいきます。



7/11～18 ニューポート市訪問団親善訪問

市長をはじめとする下田市訪問団13名が6泊8日で姉妹都市のニューポート市へ親善訪問し、4年ぶりの直接交流により親善を深めてきました。詳細は広報しもだ9月号で掲載予定です。



7/15～ 夏期海岸パトロール

白浜大浜海水浴場にて、安心・安全な管理運営のためパトロールを行いました。下田警察署、市議会議員、BONDSにも同行していただき、条例に違反する業者等に指導したり、刺青、タトゥーを隠すようお願いして回りました。パトロールは8月27日(日)まで行います。



7/25 新庁舎建設安全祈願祭

令和6年春、先行開庁予定の新庁舎整備工事(旧校舎活用棟)が始まるに当たり、安全祈願祭が執り行われました。工事内容は旧稲生沢中学校校舎の改修工事となり、今回の工事終了後には、体育館及び新築部分の工事が予定されています。

**7月の
できごと**

- 8日 下田わくわくパークこれば!
- 11日 夏の交通安全県民運動 早朝一斉街頭指導
- 12日 日本赤十字献血
- 19日 寿大学
- 20～23日 第45回国際カジキ釣り大会
- 25日 新庁舎安全祈願祭

地域子育て支援センター通信

問合せ先 地域子育て支援センター ☎072200



9月の予定

- 1日(金) 「遊・VIVA」ネットワークによる「下田の空襲の伝承」
- 2日(土) 開館日
- 4日(月) 救急救命講習 講師：下田消防署救命士
- 6日(水) めだかルーム 9時～11時30分
- 8日(金) わくわくタイム *午後閉館(清掃・消毒)
- 11日(月) 体育館で遊ぼう 9時30分～11時
場所：市民スポーツセンター(サンワーク)
- 13日(水) あひるルーム 9時～11時30分
- 15日(金) 誕生会
- 16日(土) 開館日
- 19日(火) 防災出前講座(起震車体験) 10時30分～
- 20日(水) うさぎルーム 9時～11時30分
- 22日(金) わくわくタイム *午後閉館(清掃・消毒)
- 25日(月) 発育測定・育児相談 9時～11時
保健師・栄養士来所
- 26日(火)～27日(水) ぼんぼこたぬき製作
- 28日(木) ベビーリトミック 10時30分～ 岡かよの先生
- 29日(金) 敷根公園で遊ぼう

年齢別ルームのお知らせ

9月から3月まで毎月1回(午前)、同年齢(名札の色)で集まって遊ぶ日を設けます。同じ年齢のお子さんを持つ保護者同士で情報交換、親子同士でふれあう場としていただければと思います。年齢ごとの呼び名は表記のとおりです。実施日については変更になることもありますので、確認の上ご参加ください。

めだかルーム	未歳児：橙色名札	R5.4.2生～
第1水曜日	0歳児：桃色名札	R4.4.2～R5.4.1生
あひるルーム	1歳児：黄色名札	R3.4.2～R4.4.1生
第2水曜日		
うさぎルーム	2歳児以上：水色名札	R2.4.2～R3.4.1生
第3水曜日	：緑色名札	H29.4.2～R2.4.1生



誕生会



七夕製作

キラキラと照りつけるような日差しに夏本番を感じますね。体温調節が十分に発達していない子どもたちは、熱中症の危険性が大人よりも高まります。こまめな水分補給を心がけましょう。また、子どもたちの大好きな水遊びも始まりました。ちょっとした油断が事故につながることもありますので、安全面には十分な配慮が必要です。ご家庭のお風呂場やビニールプールで遊ぶ時にもお子さんから目を離さないように気をつけましょうね。そして、夏の遊びを楽しんでいきましょう。

こんにちは、教育長です

～生きる支えとなるもの③～

今回は趣味の話に終始しそうです。私の趣味の一つに園芸があります。きっかけは教員になって間もない20代後半頃、同僚のA先生(その当時教務主任)からいただいた一鉢の洋蘭です。A先生が自宅から学校に持ってきて職員室に飾ってあったものでした。花が咲き終わった頃、「これ一つやるよ。育ててみる?」と言って素焼き3号鉢に植えられたデンドロビウム(洋蘭の一種)を譲ってくださいました。今思えば、興味津々と眺めていた私の姿を見てのことだと思います。たくさんの根が鉢にしがみつくように覆う着生蘭特有の姿に魅せられていたのです。

柿の木に着ける方もいます。着生蘭の根は、土からの栄養はありませんので、雨垂れや、しがみついた木や石(崖など)から流れてくるほんのわずかな栄養を含んだ水、または空気中のわずかな水分を吸収するだけ。ほぼ自然づくりになので肥料はなくても十分育ちます。大切なのは、新鮮な水と空気(換気)とほどよい日光。あとは毎日の観察。害虫も病気も、日頃のまめな観察さえしておけばなんとかなります。多少虫に食われてもいいんです。水、空気、日光がタイミングよく施されていければ、生長の勢いが勝ちます。人の成長と同じだなどいつも思うのです。水、空気、日光、肥料、置き場所：人が生きる上でそれぞれ何に当たるのでしょうか。施すときに根腐れしないように、満たされなくて葉が変色したり落ちたりしないように。小さくても精一杯の開花を願っている毎日です。

